

# 議会だより

たかもり

令和7年1月31日発行

No.162

UD  
FONT

あなたの声をお聞かせください

## 読者アンケート

アンケート期間 令和7年1月31日(金) ~ 3月14日(金)



スマホで



FAXで



役場窓口  
回収箱

02 令和7年度 予算提言

04 12月定例会

06 議会基本条例逐条解説 一般質問

11 議会だより読者アンケート

14 委員会から報告します

17 議会改革 意識調査報告

22 みんなの声 下市田 くらすわ しげのぶ 倉沢 成信 さん

もとしま なほみ 吉田 本島菜穂美 さん



# 令和7年度 予算提言 議会から町へ

令和6年4月、総務民生委員会・産業建設委員会では、来年度予算に向けた議会提言の検討をはじめました。各議員から町が取り組める事業の可能性など、さまざまな角度からとらえた案が出され、その中からテーマを絞り、さらに調査・検討を重ねました。令和6年12月16日に、各委員長から議会へ報告し最終決定した提言書を壬生町長へ提出しました。

このページでは提言と、町民の皆さんからいただいたコメントを一緒に掲載します。

提言の全文は  
こちらから



## 産業建設委員会

### ハーモニックロード周辺の観光開発 を提言

令和7年度以降における、当町の上・下段のバランスの取れた「地域計画や魅力発信」の推進を視野に、次の項目を提言します。

- ① たかもり温泉のリニューアルに合わせて、ハーモニックロード沿線の観光開発について多面的・計画的な推進を図ること

### 地域計画を着実に推進するために を提言

当町の基幹産業である農業における、地域計画を推進(経営基盤の強化を推進)するために、次の項目を提言します。

- ① 地域計画を推進するために、農業振興係・農業委員会事務局・営農支援センターの業務量は増大する、遅滞なく推進できる人員体制を確保すること
- ② 担い手となる、認定農業者・後継者・新規就農者等の積極的な確保と支援、農業法人・一般社団法人等の設立をサポートすること

(齋藤 記)

## わたしもひとこと

荒れた農地や太陽光パネルが置かれている農地を見るとかなしい。日本人としてお米を奪われるのはかなしい。  
田んぼをやめて畑にすると補助金が出るらしいけど、町で米農家さんをあえて応援してほしい。応援すれば新規就農も増えると思う。



山吹在住 女性

### 新規就農について

現在は息子の病気や、体力のこともあり、支援学校に通っていますが、病気の有無にかかわらず、誰でも通えるように、環境や体制が整えてもらえることを切望します。

## 総務民生委員会

### 町民の健康づくりの推進について を提言

山吹ほたるパークなどの施設を有効に活用し、町民が楽しくスポーツに取り組める環境づくりや、スポーツを通じた町民の健康増進を積極的に取り組まれるよう次の項目を提言します。

- ① ニュースポーツに対応した備品の整備や保全・拡充をすること
- ② 教育委員会配置の地域おこし協力隊との連携を強化し、積極的に町民の健康増進に努めること

### 保育や学校現場に専門的知識を持った人材の配置 を提言

切れ目のない子育て支援を、より確実かつ体系的に整備し、専門職員や指導者の数が不足しているという課題を踏まえ次の項目を提言します。

- ① 保育現場や学校現場に専属のスクールカウンセラー等の専門人材の配置をすること
- ② 保育所や学校などで医療的ケア児を受け入れるための研究を進めること

(原 記)

## わたしもひとこと

息子は心臓病で酸素を使っています。酸素は医療行為なので、看護師が常駐している療育園に通うしかありませんでした。  
病気持ちで通常保育園に通っているお子さんも、病状によって酸素が必要な間は、看護師が不在のため保育園を休むしかなかったそうです。  
小学校入学時には看護師を探さなければならず、見つかるまでは親が同伴登校しなければなりません。実際に看護師を探された方のお話では、かなりの時間と労力を費やしたそうです。  
また、学校教育法では、病弱・身体虚弱の特別支援学級を設置するには人数が定められていて、息子一人では足りないそうです。



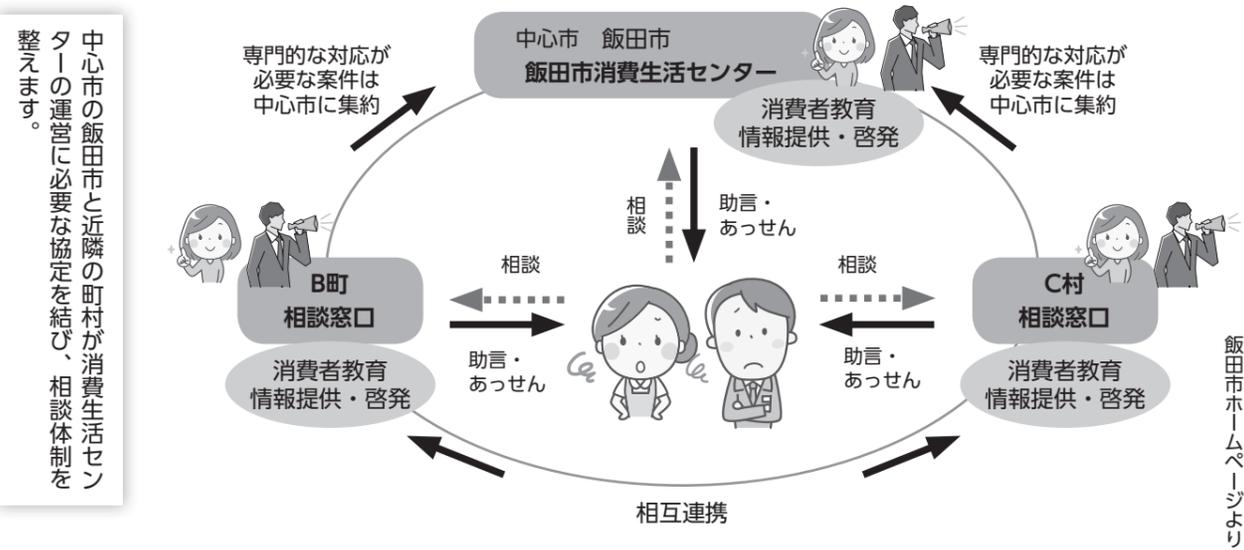
### 切れ目のない子育て支援

**協定締結**

※  
飯田市との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて

県は、分散している県消費生活センターを令和7年度から松本市に集約し、相談者支援などの強化をはかります。それにとまない町は、飯田市との間に締結している協定の一部を変更し、締結するものです。

**広域化のイメージ（中心市集約方式）**



※定住自立圏とは…医療・教育・産業振興など生活に必要な機能を確認し、地方での日常生活を安心して過ごせるようにするための政策

**12月 定例会  
ピックアップ**

令和6年12月定例会は12月4日から16日まで行われました。本定例会では、報告案件1件・条例案件3件・補正予算案件3件・その他案件8件が上程され、いずれも可決しました。その審査の中から、身近な事業を取り上げて報告します。



**請負契約**

**令和5年度 交通安全対策（地区内連携）事業  
道路改良工事変更請負契約の締結について**  
904万円

町道I-1号線の道路改良工事で、擁壁工事の工法変更や、残土運搬などによる増額です。



大型ブロック積みに変更した擁壁

**請負契約**

**令和6年度 地方創生道整備推進交付金事業  
舗装修繕工事変更請負契約の締結について**  
727万円

町道I-1号線上平～駒場地区の舗装修繕工事で路肩部分までを舗装したことによる増額です。

**条例改正**

**高森町営墓地条例の一部を改正する  
条例について**

墓地管理組合の解散にとまない令和7年4月1日から町が管理します。そのため、利用料など必要な事項について条例の一部を改正するものです。

**指定管理**

**信州たかもり温泉「湯ヶ洞」「御大の館」の  
指定管理者の指定について**

期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日  
所在地 駒ヶ根市赤穂  
団体名 中央アルプスリゾート株式会社  
代表取締役 白澤 裕次 氏

**指定管理**

**山の寺キャンプ場の指定管理者の  
指定について**

期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日  
所在地 高森町山吹  
団体名 前進合同会社  
代表社員 久保田 進 氏

**財産取得**

**ICT教育推進事業 1665万円**

県の共同調達という仕組みを使って、高森中学新2・3年生のタブレット322台を更新するものです。費用の2/3は国庫補助が受けられます。

……契約先……

所在地 松本市大字笹賀  
契約者 富士電機 I Tソリューション株式会社

**民生費**

**下市田保育園施設改修整備事業 2566万円**

下市田保育園のフェンスなど施設改修にともなう工事費や設計・管理委託料などです。



改修予定のフェンス

**総務費**

**町民研修センター森の家管理事業  
1億2256万円**

老朽化により閉館している町民研修センター森の家の解体にともなう費用です。

**繰越明許費**

**町道冬季維持管理事業 1815万円**

令和7年3月31日に予定されていた凍結防止剤散布車の納入が遅れ年度をまたぐことによるものです。

令和6年度  
一般会計

**補正予算**

1億5829万円増額  
総額 82億3213万円

補正の歳入の主な増額 地方交付税1億5000万円／寄付金1000万円  
減額 県負担金178万円／国庫補助金34万円  
歳出の主なもの 総務費1億2400万円／民生費2800万円／土木費1518万円

# ちく じょう 逐条解説

## 高森町議会基本条例の

令和6年9月11日に公布された「高森町議会基本条例」の条項を一つ一つ順に解説する「逐条解説」について小委員会を設け検討を進めてきました。161号に掲載した条例の前文について、解説を掲載します。

### 高森町議会基本条例 前文の解説

地方公共団体では、町長と議員がそれぞれ直接選挙によって選ばれ、互いに対等な立場で、共に町民に対してその政治責任を負うという二元代表制が採用されています。

このような地方自治制度の仕組みの下、議会には町長から提案された重要事項について、議決をもって意思決定する議事機関としての機能をはじめ、監視機能や調査機能があるほか、自らも政策を立案し提言する役割などを持っています。

一方、地方自治体を取り巻く環境は、明治以来の中央集権型から地方分権型への脱却、さらには地域ことは地域の住民が責任を持って決めることのできる地域主権型社会への転換など、大きく変化してきています。

本町議会は、それらの役割と責任を踏まえ、高森町の最高規範である「高森町まちづくり基本条例」にうたわれる「育ちあい、支えあい、みんなで動かす元気なまち」の理念にのっとり、町民の声を積極的に受け止めた議会運営を目指します。

前文は、以上のような高森町議会のさらなる活性化と、町民の声を基に議員間討議を大切にするとともに、町民に開かれた議会の実現のため、議会運営の最高規範として、本条例を制定することを宣言したものです。

(原記)

## たかもり温泉改修は福祉を基に

### 町長 採算もとれる運営が大切

#### ▽質問

「信州たかもり温泉リニューアル基本構想について」では、利用客の減少による危機打開策を、新しい経営者の出現に求めているがこの民間経営責任的な行政側の観点は今後変わらないか。

#### 町長

信州たかもり温泉の施設を、より多くの町内外の皆さまにとって魅力的な施設とし継続的に不採算施設とならないように運

営をしていくためには、民間事業者のノウハウを最大限有効活用していくことが大切と考えている。

#### ▽質問

リニューアルに向けて町民の多様な意見を聞くことが第一だと思いが、意見の集約方法は。

#### 産業課長

基本設計の原案に対し、町民からの意見を集約し、今後の実施設計に反映するため、町広報、お知らせ版、町ホームページ、

SNSなどを利用。

#### ▽質問

環境省の統計では、温泉宿泊施設は減少している。一方、交通事情の変化や若年層の要求の各温泉宿泊施設・観光施設の連携をどう位置付けていくのか。

#### 産業課長

リニア・三遠南信道の開通や座光寺スマートインターの設置により、大半はビジネス利用による宿泊であり、インターに近い立地が影響している。

検討委員会では、飯田

下伊那地域以外の利用者に対して地域特有のコンセプトや若い方を対象にサウナやリラクゼーショ

ン、軽食の内容なども検討をしている。

#### ▽質問

構想にある施設の二元化においても大幅な工夫が必要ではないか。

#### 産業課長

湯ヶ洞・御大の館それぞれに入り口があり、お風呂や食事スペースも2箇所ずつあるなど、利用者からもわかりやすい点は改善するよう検討している。

#### ▽質問

アシスト自転車を備えてそれを貸し出し、自転車走行帯を設置するなど、サイクリンググリーンプラザとしての機能アップは。

#### 産業課長

道路にペイントをして、アシスト自転車レーンの設置なども検討する。

#### ▽質問

リニューアルにおいて、町民に親しまれる福祉施設の方にシフトし

### 10 木下啓爾

町民の声と行政のバランスは

### 13 原敏明

8030運動の取り組みは

### 7

### 佐々木 昌

たかもり温泉改修は福祉を基に

### 8

### 大島正光

伝統芸能保存団体への支援を

### 9

### 北沢幸保

要対策土の持込は断念を

一般質問の原稿は質問した議員自身が内容を要約してお伝えしています。議事録は準備が整いしだい町ホームページでご覧になれます。



南アルプスを一望し きょうもひと風呂

#### 町長

検討委員会では、町上段のこの場所が心身共にリラックスができ、多く町民の皆さまが利用したいと思える福祉施設だとの考え方をベースに、町

外の方にも自慢できる事業の運営をという概ねの方向を出している。今後は、もし修正するならば、そのような改修案を示しながら、一方でこの事業を行政で行うべきか、も含めて意見を求めていく。



おおしままさてる 大島正光

# 伝統芸能保存団体への支援を

教育委員会事務局長 各団体の自主性を大切にしつつ検討

▽質問

南信州は伝統ある民族芸能の宝庫と言われている。

地域の人たちの幸せ、五穀豊穡、無病息災など願って行われている。

町の民族芸能と言えば屋台獅子であり、その源流は大島山の獅子舞（県の無形民俗文化財に指定）で、約900年の歴史があると言われている。町内には大島山の獅子舞を原型として各地域に伝承され活動している。

町は歴史ある民族芸能の活動に対し現在のどのような支援をしているか伺う。

教育長

現在は、3つの主な支援を行っている。

①地域の伝統芸能活動への支援

②道具等の整備への支援

③町内外へのPRを行う際の支援などである。

▽質問  
どの地区でも担い手の確保が難しくなっている

と聞いている。学校での総合学習の時間で、歴史ある地域の伝統芸能行事や獅子舞など、祭りの意義を学び、興味を持っていただき継承の想いを深めていただくよう提案。

教育長

今までも保育園や学校などで地域の伝統芸能に触れる機会を作ってきた。山吹保育園では、新田の「虎舞」や竜口の「竜神の舞」が、園の運動会に参加。

小学校では、南小学校

6年生が総合学習の時間に瑠璃寺の獅子舞について学んだ。なお、総合的な時間に扱うテーマについては、学級や学年の主体性、独自性に任されているが、地元の伝統芸能を取り上げ学習することに意味がある。学校へも情報提供を行い指導したい。

▽質問  
各地区の伝統芸能で活躍している方々は、高齢化が進んでおり、後継者不足と聞いている。ほぼボランティアで伝統を守り続けることに意義があると頑張っている活動している団体に、町から直接支援することで、町の活力にもつながると考えるがいかがか。

教育委員会事務局長  
現状では運営に対する補助での支援は存在していない。各団体の運営財源は各地区からの支援と、活動に賛同する地域住民



大島山 獅子舞

からの寄附金などと聞いている。

町からの補助金については、各団体の主体性と自主性を大切にしつつ検討すると考えている。

▽質問  
町は歴史ある伝統芸能や獅子舞などの魅力を町内外にもっとPRすべきではないか。

教育委員会事務局長

毎年、町のホームページでお祭りの開催日や概要をお知らせしてきている。今後も各団体の主体性を大切にしながら、子どもたちをはじめ町内外に高森町の伝統行事や伝統芸能をPRしていく。

# 要対策土の持込は断念を

町長

出てくる要対策土を放っておけない

当町はJR東海に対し、リニアの掘削工事で発生する要対策土（国の基準を3倍超上回るヒ素・ホウ素を含む）を、やすらぎ荘から東に下る

「町道八日市場線の改良工事の盛土として活用できないか」と提案した。

JR東海からは、「現状の改良計画では土量が少ないため難しいが、現道から田沢川までの間のすべてを埋めるのであれば事業化の可能性が



きたざわさちほ 北沢幸保

る」と回答があり、「要対策土を使用した事業ができるのか検討するため各種調査を実施させてもらえないか」と打診があった。

地権者にこの経過を説明したところ、安全面を懸念する声が噴出したことから、町は、八日市場線への要対策土の持込みを断念した。

しかし、町長は「今後

の承諾が得られれば使いたい」と答弁している。

▽質問

当町には、「環境保全条例」があり、第4条（町の責務）によると、環境を保全し、環境への負荷を低減することを規定している。要対策土の持込みは環境への負荷となり、持込込むことは出来ないのではないか。

町長

要対策土を持ち込むことは負荷ではなく、対策をしないことが負荷だと思ふ。

▽質問

環境保全条例第7条では、「町は、公害が無く、人の健康を保持し、町民が安心して居住できる生

活環境を保全すること」「水・大気・土壌等を良好な状態に保持すること」と規定している。

町長

もし要対策土が持ち込まれたとしても、人体に影響を与えないような形で、良好な状態で保持しなければならぬ。

▽質問

要対策土の受入を望んでいる自治体は当町以外には無い。なぜ環境保全条例を遵守せず、JRの立場に立って町民に要対策土を押し付けるのか。

町長

たくさん出てくる要対策土を放っておくわけにはいかない。安全性を担保していただいて、地域や広域全体で考えて行かなければならない。

▽質問

地権者に説明し判断してもらう前に、高森町環

境審議会を開いて、調査や審査を行なうべきではないか。

町長

手順に関しては、私たちは間違っている事を一切やっていない。

▽質問

JRが将来にわたって厳格に管理するとしても、

町長

要対策土を受け入れるとしたら、未来にわたって管理し続ける責任はあ

地震・土石流・風化・経年劣化は、人知が及ばない力であり、未来永劫にわたって要対策土の安全管理は不可能ではないか。



要対策土の持込みを提案された場所

# 議会だより読者アンケート



## 【はじめに】

高森町では3月・6月・9月・12月と定例会を開催しています。その定例会で行われた審議の内容や議決した事業のピックアップ、また定例会の内容の他に、委員会や議会の様子などを報告する「議会広報誌（議会だより）」を年4回発行しています。

高森町議会でこの「議会広報誌」の編集をしているのが「議会だより編集特別委員会」です。

委員6名で各項目の担当を受け持ち、企画・デザイン・原稿作成などの全てを担い、約1か月半をかけて作成しています。

また令和2年度から「議会だよりモニター制度」を取り入れ、現在第3期7名の皆さんから感想をいただき（16ページ参照）、より読みやすい議会だよりを目指して作成に当たっています。

「議会だより」が幅広い年齢層の皆さんにとって「チョット気になる1冊」になるように、読者の皆さんを対象に「議会だより読者アンケート」を行うことにしました。

## 【今までの議会だよりのイメージ】（長野県町村議会広報研修会参考）

カタイ・難しい・読みたくない → からぬけ出す

## 【目指す議会だよりのイメージ】

- 小学校5年生が読める …… 漢字やことばの難しさはどうか
- 見てわかる …… ① 文字をへらす ② 議会の見える化
- 企画 …… 町民の知りたいこと・身近な内容か

## 【読者アンケートについて】

### 回答方法（裏面が記入用紙になっています）

- ① 役場窓口アンケート回収箱へ投函
- ② ファックス送信（FAX 0265-35-8294）
- ③ Googleフォーム

Googleフォームの回答はこちら



の中からお選びいただけます。 ※1人1回の回答にご協力ください

### アンケートの最後にクイズがあります。

回答者の中から抽選で7名の方に活気アップ商品券（2000円分相当）を贈呈いたします。 ※抽選に参加される方は、住所・氏名・連絡先をご記入ください（当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます）

回答期限 令和7年3月14日（金）

大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。 編集委員会一同

（小沢 記）

# 町民の声と行政のバランスは



木下 啓爾

## 町長 「住民力」と「行政力」のバランス

町政運営の根本は「町民の声」である。町長も町政の核である「町民の声」を重視している。

一方で、毎年、町内各地区で開催されている「まちづくり懇談会」の参加者は減少傾向にある。「町民の声を生かす行政」について質問した。

▽質問  
町長は、まちづくり懇談会以外にその対象を、各種団体や事業者、希望者へと拡大している。その成果や今後の方向性は、

町長  
まちづくり懇談会以外に、消防団・おてこの会・教職員など、各種団体との懇談会を18回開催した。

様々な世代・立場の皆さまのまちづくりに対する考え方や提案をお聞きし町の施策・事務事業に反映させている。

▽質問  
各課・係に届く「町民の声」や職員個人の聞く「町民の声」をどう役場で周知しているか。

総務課長  
町民からの要望・相談・提言・苦情などを、公正・迅速に処理するための「高森町要望等の取扱いに関する要綱」に基づき対応している。

▽質問  
まちづくり懇談会は、時間が短かったり、参加者が限られたり、出される「町民の声」の内容や人数に限りがある。「懇談時間の確保」や「開催通知の全戸配布」「町長との車座集会」など、他の方法も検討したかどうか。

懇談会に、一人でも多くの方や多様な世代の方々に参加いただくための改善の必要性も十分認識している。今後も改善に取り組む。

▽質問  
町からの情報がないと「町民の声」も出てこない、町から情報提供等についての取り組みは。

総務課長  
町からの情報は、紙媒体の広報だけでなく、電子媒体などを複合させていく。世代や対象ごとに伝達手段を変えるなど、町民に情報が届くことを目的に今後も取り組む。

▽質問  
よりよいまちづくりは、「①町民の意見を活かし②町民のまちづくりへの参加を促し③行政がそれを支援する」のバランスと考える。このことについての評価は。

町長  
大事にしているのは、「住民力」と「行政力」と考えている。そのバランスは、良い感じになってきている。

しかし、行政力の強さは、住民力を下げてしま

町長  
「まちづくり基本条例」では「住民が自主的に意見を述べ、直接関与する」と定義している。それに基づき、町民に対する行政の役割を果たしていきたい。



町長と商工会会員との懇談会

当てはまる□にシ点でチェックしてください。

質問① 居住地はどこですか。  
高森町内 町外

質問② 年齢など、当てはまるところをお選びください。  
小学生 中学生 高校生 10代 20代  
30代 40代 50代 60代 70代  
80代 90代以上

質問③ 性別をお選びください。  
男性 女性 その他

質問④ 年4回発行される「議会だより たかもり」をご存知ですか。  
知っている 知らなかった

質問⑤ 「議会だより たかもり」を読んでいますか。  
毎号読んでいる たまに読んでいる  
ほとんど読まない

質問⑥ 議会だよりの入手方法は、次のうちどれですか。  
常会文書 公共施設 コンビニ等の施設  
まちホームページまたはLINE  
友人・知人から その他

質問⑦ 議会だよりを読む時は、どの形がいいですか。  
冊子 電子版 どちらも必要

質問⑧ カラーについて、読みたくなる「議会だより」は次のうちどちらですか。  
今まで通り 全ページカラー その他

質問⑨ 「議会だより たかもり」162号についてお伺いします。  
1. 表紙はどうでしたか。  
手に取ってみようと思った 良いデザインだと思った  
あまり惹かれなかった 表紙は特に気にしていない

▽「議会だより たかもり」について提案・ご意見などありましたらご記入ください。

[Blank box for comments]

※抽選に参加される方はご記入ください。(個人情報 は 目的以外に使用しません)

住所	氏名	連絡先
----	----	-----

★クイズ★ 議会基本条例を分かりやすく説明したものを、漢字4文字で何と言うでしょう。

回答: 逐 [ ] 解 [ ]

2. 文章の読みやすさはどうですか。  
読みやすい まあ読みやすい 読みにくい
3. 文章のわかりやすさはどうですか。  
わかりやすい まあわかりやすい わかりにくい
4. ページ構成 (レイアウト) の見やすさはどうですか。  
見やすい まあ見やすい 見にくい
5. 紙面の文字量はどうですか。  
多い ちょうど良い まあちょうど良い 少ない
6. 写真の量についてはどうですか。  
多い ちょうど良い まあちょうど良い 少ない
7. イラストの量についてはどうですか。  
多い ちょうど良い まあちょうど良い 少ない
8. ページ数はどうですか。(平均20ページ)  
多い ちょうど良い まあちょうど良い 少ない
- 質問⑩ 「議会だより たかもり」に掲載してきた記事の中で、関心のある記事はどれですか。(複数回答可)
- すべて 予算 決算 分科会質疑
- 議案ピックアップ 討論・賛否 請願・陳情
- 次年度予算提言 一般質問 議会のうごき
- 委員会報告 モニターの声 追跡
- 委員会視察 自主研修報告 みんなの声
- 表紙の解説 編集後記

# 8030運動の取り組みは

町長

状況を学び取って予算提言につなぐ

▽質問  
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が始めた、80歳になっても30デシベルの聴力を維持することを目指す「8030運動」は、80歳で自分の歯を20本以上保つ「8020運動」と同様、フレイル(虚弱)に陥らないようにするの

が狙いだが、これへの取り組みは。ヒアリングフレイルは、聴覚機能の衰えに注目し

今時点のフレイル予防



あき 明 とし 敏 はら 原

た新たな概念で、フレイル予防の重要な分野の一つであり、地域ケア会議等で啓発活動を実施し、家庭や地域でも、個々の状況に応じた声の大きさや伝え方への心配りを行うなど、年を重ねても日常生活において円滑なコミュニケーションが図られ、安心して元気に活躍できるような環境になるような取り組みを進めた

健康福祉課長

町で実施している健診時に検査できるのか確認を進めている。聴力検査のあり方については、専門の先生の意見も聞きながら進めつつ、まずは聞こえづらさなどの相談には、耳鼻科受診を含めたアドバイスを行うように努めている。

▽質問

聴覚障がい者のため、クリアに聞くことができ、環境づくり、会合に積極的参加を促す取り組みとしてヒアリンググループという装置を公共施設に設置する考えはあるか。

音響や吸音といった視点では改修を行っていない。公共施設全体の吸音化については、それを目的とした計画はないが、今後の建て替えや改修では、必要に応じて研究をしていく予定。

健康福祉課長

設置型装置は、利用場所が限定されることがあり、携帯型のものも含めて機能や特性を確認し、必要性について研究を進めていきたい。

反射音による聞き苦しみの解消のため、公共施設の天井や壁などの吸音化を進められないか。

この点について、中央公民館や今度造る地域交流センターは、どう計画されてきたのか。

総務課長

昨年度の公民館改修は、土足化、バリアフリー化などの改善を趣旨に行い、

聴こえ 8030 運動 とは?

30dBはささやき声の間こえるくらいです

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ホームページより

80歳で補聴器をしてでも30dBの聴力を保つ国民啓発活動

行政視察 福井県 美浜町と小浜市へ 令和6年11月26日～27日

令和6年11月26日に福井県の美浜町へ、27日に同県小浜市へ行政視察に行きました。原子力発電所のある美浜町には、令和3年に策定された「エネルギービジョン」と、美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」の見学に。小浜市には「地域計画」策定の経過や、その取り組みなどについてお話を伺いました。

美浜町



—— 原子力発電所のあるまちづくり ——

美浜町では、原子力と再生可能エネルギーを通じたまちづくりのありかたを「美浜エネルギービジョン」として策定し、町が持つ資源を最大に活用することで、ヒト・カネ・企業の活性化を目指す取り組みをしています。



—— 「きいぱす」を活用した体験学習 ——

美浜町の学校では「きいぱす」でエネルギーについて学習できるように、教育カリキュラムがまわっています。当日は、「電気を届けるしごと」について学習するクラスや、屋外施設で「かまど炊き」を体験する子どもたちの姿がありました。

小浜市



—— 小浜市の農業の状況 ——

小浜市は人口2万7770人、主な農作物はお米です。認定農業者は35人で、その内60歳以上が7割をしめ、担い手の確保が課題になっています。また、山間地域では遊休農地が増え、市内の遊休農地化率を引き上げる要因になっているそうです。



—— 地域の話し合いが一番だいじ ——

農業に関するアンケートの結果を見る化した資料を作成し、懇談会では「地域の農業は地域で話し合う」ことを一番に、取り組みをつづけました。農地集積率は平成26年の35.4%から令和5年には57.3%まで進みました。半面、限界も感じているとのことでした。

まとめ

美浜町では「原子力と共生するまち」としてのまちづくりと、子どもたちへの学習の機会がうまく組み込まれていました。高森町でも、実際に見て触れる親子参加の体験学習会などを行っており、それぞれの地域に合わせた取り組みがある印象を受けました。小浜市の「地域計画」を担当する農政課は2グループ11名（内 会計年度任用職員2名）の職員体制で取り組んでいます。高森町でも職員の増員が望まれ、議会では令和7年度予算にむけて、町長に提言書を提出しました。（3ページ下段参照）

産業建設委員会 委員報告



（小沢 記）

美浜町 「きいぱす」



行政視察 滋賀県彦根市へ 令和6年11月11日～12日

今回は、ICT教育と人工芝サッカー場について先進地から学ぶ目的で、彦根市立稲枝東小学校と金亀公園多目的競技場で行政視察を行いました。

総務民生委員会 委員会報告



※ アクティブラーニング教室の導入



※アクティブラーニング 子どもたちが自主的に学習する方法のひとつ

コンピューター教室をリニューアル

コンピューター教室のリース契約満了を機に、令和5年度に「アクティブラーニング教室」への整備を行いました。費用は教室の機器を再利用することでリース契約の総額を上限としています。教室に設置するパソコンの台数を40台から学校規模に応じて8～10台に減らすなど、導入する機器の精査により教室のリニューアル費用を捻出していました。



授業を見学

自由にレイアウトを組み替えられる机や、さまざまな色のツールを使い、リラックスした雰囲気の中で授業が行われていました。児童が主体的に学び、協働しながら思考力や判断力を深める授業が行われ、グループ学習やディスカッション・ICTを活用した学習活動が行いやすい設計となっていました。

金亀公園多目的競技場

土舗装から人工芝へ

令和7年滋賀国民スポーツ大会に向け県立彦根総合運動場の整備に合わせて、土舗装のサッカー場を要望のあった人工芝に改修し、JFA公認のロングパイル人工芝ピッチとして令和5年1月にリニューアルオープンしました。マイクロプラスチック飛散防止や、排水柵にフィルターを設置するなど、環境にも配慮されていました。



利用者が4倍に

改修後は、多くの方々の利用が進み賑わいのある施設となったとのこと。平日の夕方や休日は利用者が4倍になり、予約が取りにくい状況となりました。以前は利用単位が半日でしたが、現在は2時間の予約制となっています。



利用料 平日：2,000円/H 休日：4,000円/H 市外の利用者は50%増し

視察を終えて

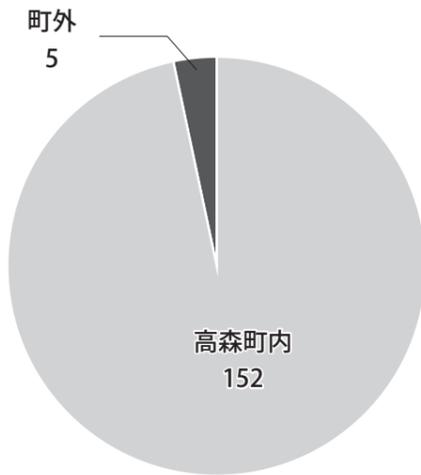
アクティブラーニング教室での授業は、子どもたちが課題を見つけ解決に向けて取り組む姿が印象的で、学びの質を重視した教育の必要性を感じました。金亀公園多目的競技場は、国宝「彦根城」や名勝「玄宮園」の近くに位置しており、歴史を感じながらサッカーを中心にさまざまなスポーツに取り組める公園でした。利用時間や利用料は、当町でのサッカー場の利活用を考えるうえで参考になりました。（河合 記）



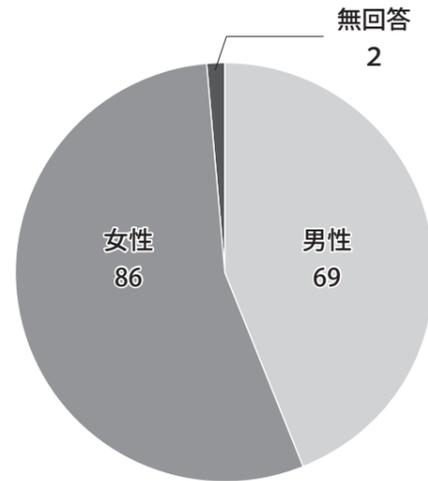
# 高森町議会・議員に対する意識調査結果

高森町では、今年7月に町議会議員選挙が行われます。地域の皆さんの声を聞いたり、行政に伝えたり、町政に反映するために、さまざまな人材が議員に立候補することが求められています。そのため、当委員会では高森町議会の無投票や定数割れにならないことを願って、議会だより161号で「議会・議員に対する意識調査」を行いました。アンケートには、議会・議員に対して抱かれているイメージや、もしご自身が議員になるとしたら…という視点で回答をいただきました。その回答結果をグラフに表して報告します。また、年代別・職業別などのクロス集計は二次元コードからご覧いただけます。

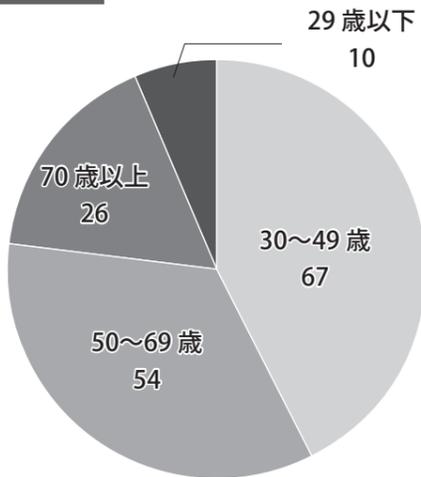
## ① 住所地



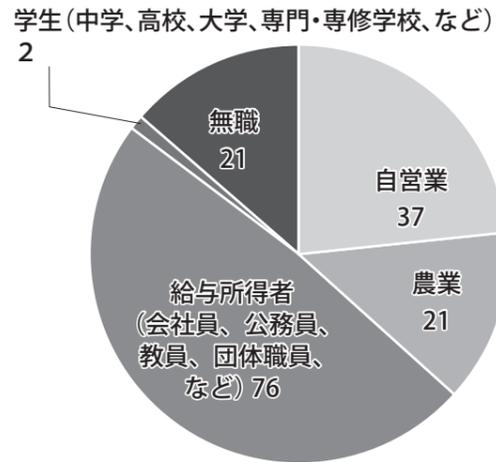
## ② 性別



## ③ 年代



## ④ 職業



# 飯田広域シルバー人材センターとの懇談会

令和6年12月5日

受託事業は上半期決算で2億1900万円(前年比△6.6%)、高森町の会員数は91人(対前年△6人)、高齢化の進行などともに全体として減少している状況。山田理事長が挨拶の中で、引き続き高森町からの今年度並みかそれ以上の補助支援助と公共事業のシルバー人材センターへの発注を求めました。

数と減少傾向  
受託事業及び会員



## 活動状況の報告

竹内専務理事より人生「100年時代をいかに生きる」と題して、センターの運営状況の説明がありました。近年は収入を求める「経済指向」と生きがいを求める「社会指向」の2極化が進み、これからのシニア世代はセカンドライフの多種多様な過ごし方を求める傾向が報告されました。



(佐々木記)

懇談会では、新たな企業も参入しつつある中でシルバー人材センターには「民間にはない準公共団体としての仕事の頼みやすさがある」「法的な制限も出てくるが是非継続発展して欲しい」などの意見も出されました。また「フリーランス法」によるインボイス制度への影響や今後課題についてなど、大幅に予定時間も越えて意見交換が行われました。

## 意見交換



## No.161に寄せられたモニターさんの声

議会回答をのせた全項目はこちらから



9月定例会の決算関連と、高森町議会・議員に対する意識調査について、いただいたご意見の一部を紹介します。

### ▼令和5年度決算～8月臨時会(2～7ページ)

- 隣の松川町と人口や財政状況がほぼ同じな事、町民研修センターの解体工事計画など改めて気が付く事が出来ました。
- 税金の使われ方は分かりやすく良いと思いますが、実際の税金の使われ方には疑問を感じるものも有る。
- 町の取り組みがわかりやすいが給付金・補助制度の明記があるといいと思う。

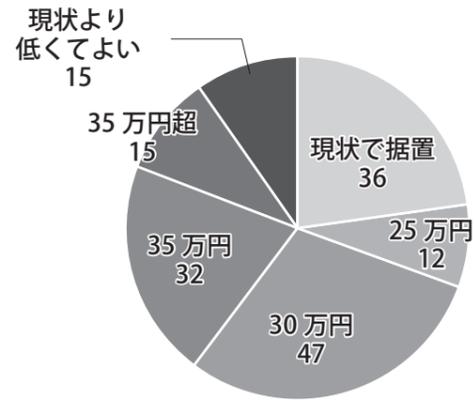


### ▼高森町議会・議員に対する意識調査(22ページ)

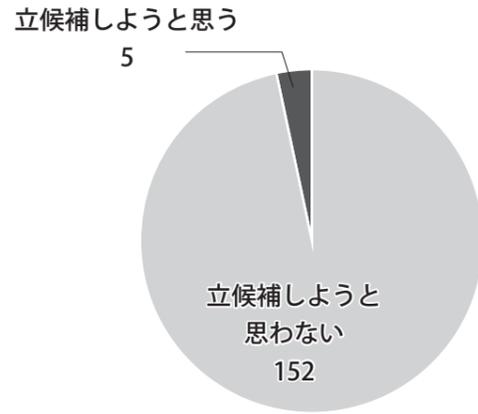
- 高齢者などネット環境が難しい方もいるかもしれません。紙のアンケートも入っているといいかもしれません。
- 議員のなりて不足は非常にむずかしい問題で簡単には解決が出来ないが、報酬を上げるか、定員を減らすしかないと思います。
- 町議が何をしているか、中学生の「しごと未来フェア」で紹介するのは、子どもたちも興味を持つ機会があり、良いと思います。
- 表紙に載せるのは難しいかもしれませんが、重要な問題でもあるので、アンケート実施している旨を誘導出来る文章を入れた方がよかったのでは。

(小沢記)

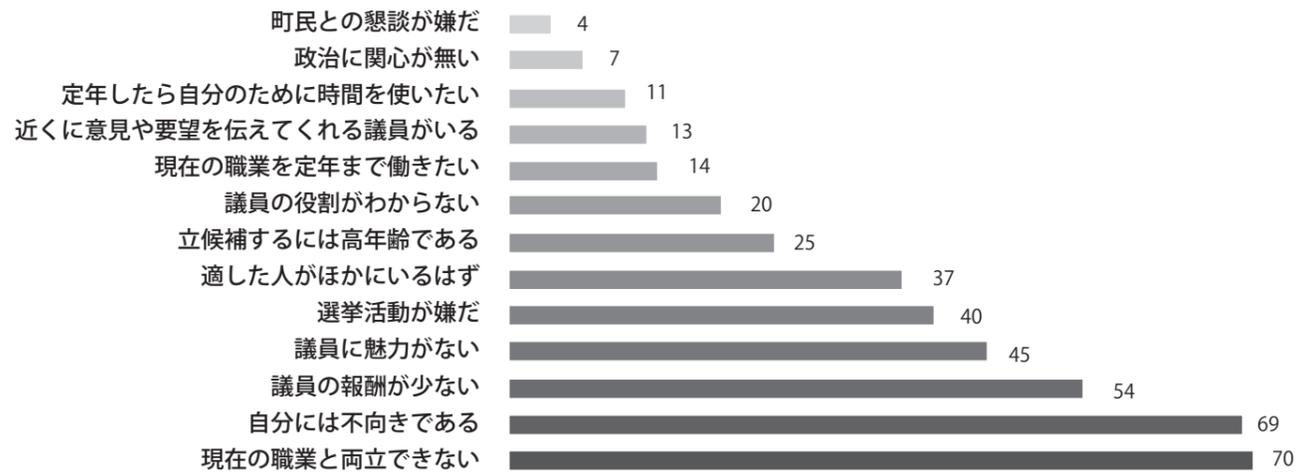
問7 高森町議会議員の報酬月額が201,500円です。あなたが議員になったら、報酬はどれくらい必要ですか。



問8 あなたは、次回の町議会議員選挙に立候補したいと思いますか。



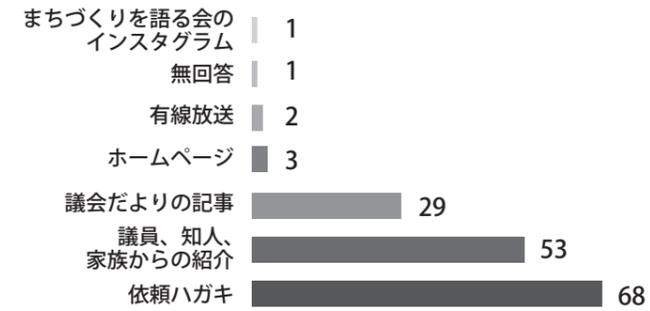
問9 「立候補しようと思わない」理由を教えてください。(上位3つを選択)



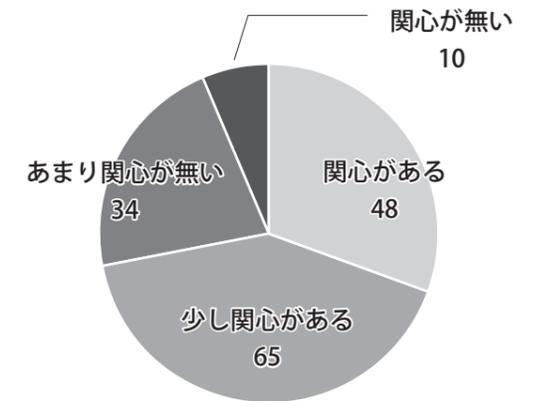
### 自由記述 (一部抜粋)

女性	50~69歳	農業	情報発信力が弱い。町民との小さな懇談会を沢山行うべき。でなければ声を上げにくい町民の声を吸い上げられないし、町民も議会への関心が高まらない。また、議員は半数が女性や30~40代のメンバーがいるべきだ。
女性	50~69歳	給与所得者	議会だより「若者に将来の職業として議員を選んでくれることを期待」とあるが、若者は町政に興味がないわけではない。任期のあるものを職業にするのはリスクが高く、高額な報酬が貰えない限りやろうとは思えない。
男性	50~69歳	無職	町長のチェック機能を果たしてもらいたい。議会での質疑は「分からないから教えてください」ではなく、議員が事前調査をしておいて問題点を追及したり町民に詳細を伝える意図を持ったりしたものにてほしい。
男性	30~49歳	給与所得者	私には家庭があり、住宅などのローンがある中で生活していく年収があります。ですが、町議会議員の年収ではその生活を維持することはできないのでやりたくてもやらないのが現状です。

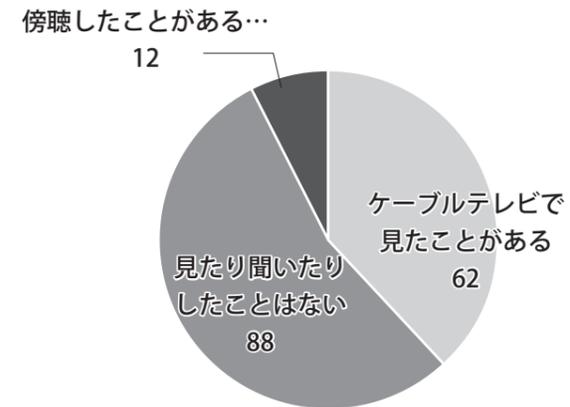
問1 このアンケートはどこから知りましたか



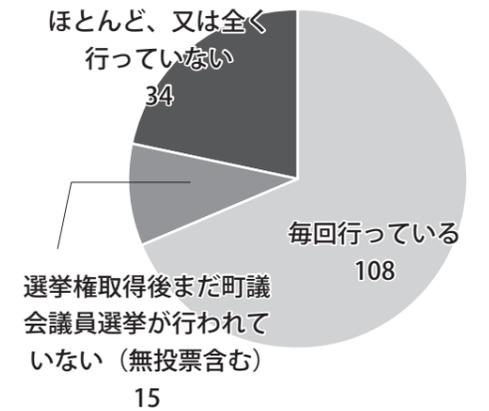
問2 あなたは町議会・議員に関心がありますか。(一つだけ選択)



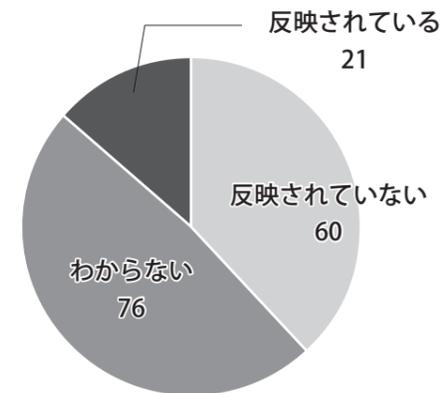
問3 あなたは町議会の会議等を見たり聞いたりしたことはありますか。(該当するすべてを選択ください)



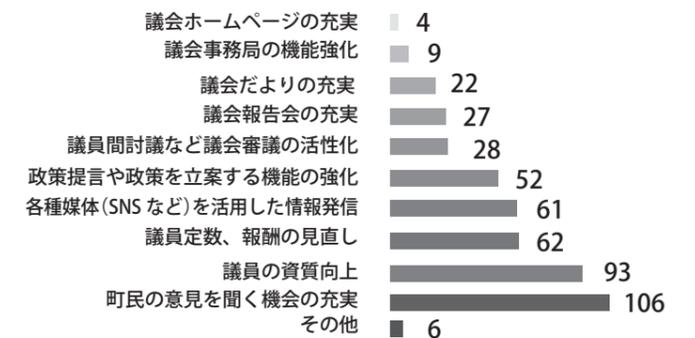
問4 あなたは町議会議員選挙に行っていますか。(一つだけ選択)



問5 あなたの意見や町民の声が町議会に反映されていると思いますか。



問6 あなたは、議会改革を更に進めるために町議会が取り組むべき課題は何だと思いますか。(上位3つを選択)



どう  
なってるの？

追跡!!

# 令和2年度の 提言は今

## 教育費 ICT 教育推進事業 298万円 (業務委託料)

令和2年度に議会から町へ「ICT機器の取り扱いなど総合的に指導できる体制を整備すること」について提言書を提出し、令和3年にICT指導員の北村指導主事と民間から派遣されたスタッフが1名配置されました。それにより、小中学校の先生と生徒からICT機器活用についての相談を受ける体制が整いました。

授業の中では、電子黒板に掲示された問題が子どもたちのタブレットにも届き、回答は先生のタブレットに集められ、子どもたちはその回答を見ながら発表したり意見交換したりすることができるようになりました。また、各学校の授業・学校だより・学校ホームページなど色々な場面でDX化が進んでいます。

さらに、令和6年度からは、情報活用担当の先生が構成員となるICT活用ワーキンググループが発足し、指導主事を中心に、定期的に各校の推進状況を確認したり、意見交換が行われています。このような取り組みにより、子どもたちへわかりやすい授業、好奇心を引き出す授業づくりに向けて、改善が進められています。



タブレットと電子黒板でみんなの考えを共有

### わたしもひとこと



ICT指導員 北村指導主事

先生たちのスキルが上がったことで、タブレット端末を使った授業が充実してきました。今後は、タブレット端末の更新によりリスク管理が向上するので、更新を終えた学年から持ち帰り学習をはじめます。予習や復習をすることで、さらに授業の質を高めていきたいです。一番大切なタイピング練習を1日5分だけで続けていって欲しいです。



高森中 林紗也子さん

タブレットだと、自分の考えをうまく言えない人が思いを伝えることができ、他の人たちと思いを共有できるので良いと思います。ただ、文字を読むだけだと、文章の理解がみんな同じにならないこともあるので、難しさもあると思います。言葉の受け止め方を大事にしたいです。

(河合記)

議員自主研修事業 研修報告

## 東日本大震災被災地を視察

10月7日(月)【宮城県】

- ① NHK仙台放送局 震災伝承ツアー・被災者との懇談会

10月8日(火)

- ① 多賀城市 市長懇談・市議会議場視察・市図書館視察

10月9日(水)【茨城県】

- ② 津波復興祈念資料館「開上の記憶」視察・震災遺構仙台市立荒浜小学校視察

10月9日(水)【茨城県】

- ① 原子力科学館別館視察

視察日程

同行議員

齋藤 天 / 市川 信幸 / 大島 正光 / 小川 修 / 本島 未来

### 住民参画の重要性

被災者に発災時や復興後をお聞きすると、発災時は情報が錯綜し、役場職員は不眠不休の対応に追われ、議員にも沢山の要望や情報が寄せられたそうです。それを職員に伝達・要望だけではなく、議会独自でその問題を解決できることが必要になります。今後の議会でそれができる体制に「どうできるだろうか。」と考えます。

また、復興の本質は、見た目や経済的發展だけでなく、歴史・文化・住民意思が重要な基盤だと強く感じました。

齋藤 天

### 「いいだけ」は安全「はない

東北大地震で男の子と親一人を亡くし、今も子どものことを忘れない様に「津波復興祈念資料館 開上の記憶」を立ち上げそこで語り部として活躍している丹野裕子さんの当時の被災状況をお聞きしました。

「南三陸は津波が来るがここは来ないと考えて全く逃げなかった。」それが反省となっていることをお話しされ、これからは頑張りましょう。

市川 信幸



多賀城市長(中央)と市議(右)と懇談



慰霊碑と語り部の丹野さん

全文はこちら



### 東日本大震災後の復興状況を視察

大島 正光

震災3年後、委員会で南相馬市をはじめ東北地方を視察しました。その後、10年経過した現在の復興状況を視察目的としました。最大10mを超す津波後の仙台市や名取市、南相馬市など現地を視察、語り部の方から復興の状況をお聞きしました。田畑も耕作され住宅も建築され、復興を伺うことができました。高森町では南海トラフ地震に備え、建物の耐震化が急がれております。

### 13年後の今は

小川 修

「開上地区には、地震はない、津波も来ない。地区の皆がそう思っていた。」と、淡々と語る「語り部」。生涯ここで活動していくことが「大切な人」を失った償いだと言った。南相馬・大熊・浪江と過ぎ景色は暗く街灯は見えませんが、家の明かりは見え、谷間に広がる太陽光パネル。生きるために他県へ移り住んだ方は「さぞ無念だっただろう」といづれの方々に幸多かれと願います。いづれ来る東南海地震に備え、何から始めようかと思つた昨今です。

### 備える＝尊い命を守ること

本島 未来

災害が起こっても尊い命を守るために議会ができる事は何か?どんな状況下になっても議会の機能を正常に運営する事、すなわち議会※BCPの策定、実践可能な想定訓練(避難訓練・臨時会・リモート会議等)、災害に対する知識力向上、災害の際に議員が控えるべき事の共有(自治体の固定電話の占有など)・意識改革が必須であり議会基本条例の元、議会で議論する必要があると考えます。 ※BCP:災害時に業務を維持するための計画



## 意識すること

も と じ ま な ほ み  
吉田 本島 菜穂美さん

私が勤務する町内にある会社の幹旋で何年前から「かき丸健康チャレンジ」に参加しています。健康に関する目標を立て、達成してポイントを貯めています。現代の車社会では歩くということが少なくなり、買い物に行っても近くに駐車したり、近くへの用事もついつい車で移動してしまっています。そこで歩く歩数を決めそれを目標にしたこと

ろ、自分の1日の歩数を意識するように買い物に行っても駐車場も遠くに車を止め、エスカレーターではなく階段を使うようになりました。ほんの些細なことですが少しでも歩くことと思うようになったことは私にとって大きな進歩です。この先の健康維持のためにも毎日少しでも歩くことを意識して、元気に楽しく年を重ねていけたらと思います。

## みんなの声

## 専業農家としての第2の人生

く ら さ わ し げ の ぶ  
下市田 倉沢 成信さん



定年を機に、収益よりも精神的なストレスが少なく、身体と相談しながら自分のペースで仕事ができる農業の世界へ飛び込みました。地域の方々の温かいご指導と、収穫の喜びが、私を支えてくれました。今後も、温暖化の影響を最小限に抑え、持続可能な農業を目指し取り組んでいきたいと考えています。また、下市田河原耕作者組合に所属させていた

だき、多くの方々からアドバイスをいただくなど、その繋がりに感謝しつつ活動しております。現在、組合長として河原の用排水路管理だけでなく、耕作放棄地の解消、組合員の高齢化、後継者不足といった問題にも取り組んでおり、地域農業の未来を見据えた経営を町と連携しつつ進めています。

## 表紙の解説

多くの町民の皆さんの声をいただきたく、初の試みとして「議会だより読者アンケート」を行います。回答方法として Google フォーム・FAX・役場窓口にアンケート回収箱を設置しています。お気軽にご参加ください。またアンケートの最後にクイズを掲載しています。正解者の中から抽選で、活気アップ商品券をお送りします。ぜひ皆さんの声をお寄せください。

(齋藤 記)



役場窓口に設置しているアンケート回収箱

## 編集 後記



令和7年度予算に向けた提言4題7項目と、2名の方からいただいたコメントを掲載しました。

前号で報告した議会基本条例の逐条解説を作成しましたので、条例前文の解説を掲載し、また、前号で行った「意識調査」の結果をご意見と共に掲載しました。

追跡は、令和2年12月に予算提言したICT指導員の確保についてと題し取り上げ、いただいたコメントと共に掲載しました。

(原記)

## 議会 ホット情報便の お知らせ

放送日：毎月第3  
土曜日～1週間  
7:00 9:00  
13:00 17:00  
19:00

2月以降の担当者は  
次の議員です

2月 市川 信幸  
3月 岩口 友雄  
4月 本島 未来

あなたも議会を  
傍聴してみませんか？

次回の定例会は

3月です。

場所 役場3階議場  
詳しくは議会事務局へ  
☎35-9404

古紙再生紙使用

～議会だよりをお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい～

発行/長野県高森町議会 責任者/岩口友雄 編集/議会だより編集特別委員会  
〒399-3193 下伊那郡高森町下市田2183番地1 TEL0265-35-9404 FAX0265-35-8294



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。